

令和7年度山口市文化財保存活用評価会議

令和6年度総合評価

【事務局修正案】

評価	評価の内容
A (B) C	<p>令和6年度に実施予定とした50の措置のうち、46項目に取り組みました。</p> <p>成果指標は、①文化・芸術・歴史に触れる機会に恵まれていると思う市民の割合、②山口市の歴史文化に誇りや愛着を持っている市民の割合いずれも低下しました。市の歴史文化やそれらに関する各種事業の市民への周知が十分でないと考えられ、その原因究明を行い、効果的な措置を検討・実施していく必要があると思われます。一方、③観光客数はコロナからの回復やNYタイムズ紙の効果により増加を続けており、一時的な効果で終わることのないよう市の歴史文化資源等について継続的に国内外に発信していく必要があります。また、未実施の措置は昨年度と同様であり、その実施に向けて対策を講じる必要があります。</p> <p>重点事業については、令和6年度は中山間・南部地域を対象とした事業に取り組みました。事業は山口市文化財保存活用推進会議の意見を参考にするなどし、幅広い年齢層が参加できるよう配慮しました。また民俗芸能の周知促進のためのイベントを開催し、幅広い世代へのPRを行いました。</p> <p>引き続き、市民が歴史文化資源に触れる機会を創出する取組や、ふるさとへの誇りと愛着を醸成する取組等について、より効果的に実施する必要があります。</p>